

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 9 月補正予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費

事業名【新】まちづくり検討事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市政策課 まちづくり推進係 電話番号：058-272-1111(内4714)

E-mail：c11654@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 35,018 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	35,018	0	0	0	0	0	0	0	35,018
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜市中心市街地では、かつての賑わいを取り戻すべく、金公園や岐阜城楽市の整備などが進められているが、それぞれが点に留まり、まちの賑わいの実現には至っていない状況である。

魅力ある拠点を有機的に「線」で結び、「面」として岐阜圏域全体に賑わいを広げるためには、岐阜ICと岐阜羽島駅・岐阜羽島ICを両端としたまちづくりを推進する必要があるため、検討を始めるもの。

(2) 事業内容

- ①まちづくりを検討するため以下の2つの事業を実施
- ・新交通システムの運行事業者が開業までに実施すべき、運転士等要員の確保や具体的な資金の調達方法等の具体的な事業スキームに関する検討
 - ・新交通システムの整備に伴う既存バス路線の再編及び交通結節点におけるパーク＆ライド等の導入検討
- ②にぎわうまちづくり機運醸成のためのシンポジウムを開催

(3) 県負担・補助率の考え方

賑わいを広げるまちづくりの推進は県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,866	業務旅費等
需用費	120	コピー用紙
委託料	33,000	導入検討費、事業運行に関する検討費等
その他	32	報償費
合計	35,018	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・現在検討中であり、今後県の各種計画に位置付け予定

(2) 後年度の財政負担

- ・全体事業費は未定、また県の負担割合も未定（今後調整予定）

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体については、本予算要求で実施予定の事業スキーム検討の中で調整予定

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
完成までの事業検討・ロードマップ等を含め、現実的なプランを仕上げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

各種計画での位置づけを検討中であり、現段階では指標設定困難

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	岐阜圏域全体に賑わいを広げるため、魅力ある拠点を有機的に「線」で結び、「面」として賑わいを広げるまちづくりを推進する必要がある
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	－
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	－

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の実現性を検討する中で、事業の採算性、周辺道路への影響を確認し、必要に応じて対策する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後については本調査結果を踏まえ検討する。
--